

| | |
|-----|----------------|
| 団体名 | 基石地区復興まちづくり協議会 |
| 事業名 | 「鎮魂のハス池」整備 |



【事業概要】

2013年3月、平泉中尊寺より復興と平和のシンボルとして「中尊寺ハス」の株を譲り受け、被災した水田を、被災跡地の利活用として「鎮魂のハス池」を整備し、現在整備継続中である。

整備概要は、ハスの生育環境改善のための畦畔の嵩上げ、及び維持管理の効率化並びに観光客の利便性改善のための畦畔の拡幅整備である。

【実施効果】

「鎮魂のハス池」整備は、被災者及び地域住民の「憩いの場」として提供できしており、さらには、地区内外からの多くの観光客への「安らぎの場」となっている。結果交流人口の増大につながっている。

【今後の展開】

今年度の「鎮魂のハス池」整備は、昨年度整備の継続であり、未整備であった延長L=90mの畦畔整備を実施した。これにより、ハス池面積は1,300㎡超えの生育環境が整った。今後も、ハス池面積の拡張整備を継続し、最終的には8,300㎡超えまで整備することで、「中尊寺ハス池」としては日本最大級の面積規模となることを目指している。

今後の整備対象水田は、震災後全く管理されていない荒廃水田であり、これを整備することは遊休農地の解消となり、SDGsの目標15に定める陸域生態系の保護、持続可能な利用の推進並びに土地の劣化阻止回復を図ることができる。

整備後は、ハスの花期の最盛期である7月中旬に「中尊寺ハス花まつり」を開催することを考えている。同時期に開催される「基石海岸ラベンダーまつり」と連携して、ハスの花の写真を募集し、ラベンダーとともに基石海岸花の写真展を開催して優秀作品を表彰したり、中尊寺ハスの思いを乗せたPRをして、観光地基石海岸への集客を図ったりすることを想定している。

【市民のみなさんへ一言】

整備している「鎮魂のハス池」は、870年前、平泉中尊寺の初代藤原清衡の平和思想、平和で争いのない極楽浄土世界を今ここに再現したいと考えて活動している。

このハスの花を見ることで、震災を忘れることなく後世に語り継ぎ、被災地の1日でも早い復興を願い、鎮魂の念をもって犠牲者に寄り添ってほしい。

ハスの花言葉 「清らかな心」

《 中尊寺ハス 花凜とし 我に言ふ 清く生きよと戒しむること 》



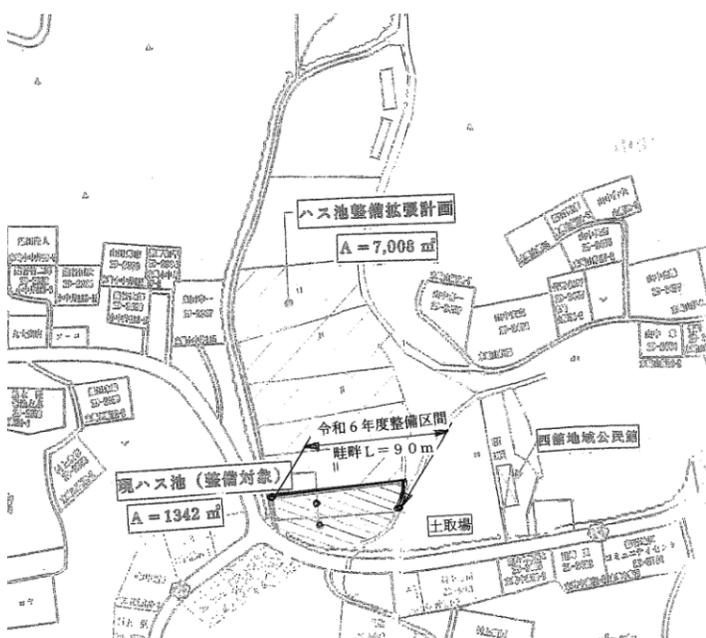
昨年11月～整備の様子



ハス池全体写真見頃の様子



「鎮魂のハス池」整備 位置図



令和6年7月19日の岩手日報掲載記事

